

ニューズレター No. 4

平成 30 年 11 月 15 日 発行

INDEX

- 活動報告
- 早稲田大学法科大学院と連携協定を締結
- 「全国条例データベース powered by eLen」
- センターさつつん誕生

● 活動報告 ●

日本法社会学会学術大会



5月26日(土)から27日(日)、鹿児島大学司法政策教育研究センターの後援の下、鹿児島大学法文学部で日本法社会学会の学術大会が開催されました。「市民社会と法社会学」をテーマとする全体シンポジウムのほか、14のセッションと

「若手」「女性」の2つのランチオンが企画され、60を超える研究発表が行われました。

初日はやや強い雨の時間帯があったものの、2日目は天候にも恵まれ、全国から100名を超える研究者が集い、懇親会を含めて充実したイベントとなりました。

開催されたミニ・シンポジウムのテーマは下記の通り。このほかに個別報告のためのセッションが2つ設けられていました。

- 「諫早湾干拓紛争」の諸問題—法学と政治学からの分析
- 「不平等」と法社会学—理論構築のための予備的検討
- 法律相談と法的交渉研修のビデオ・エスノグラフィー—その理論と実際
- 地方における看護師『御礼奉公』労働慣行の実態と法的対応—士業間協働による紛争調整の可能性
- 「架橋型」法教育スキームに基づいた教育教材の開発
- 新人弁護士のキャリア：専門分化と階層分化を展望して
- 漁場・農地・森林の過少利用問題と規制改革への視座
- 市民社会と社会的排除
- 2016年民事訴訟利用調査の結果概要
- 法の質的研究を前進させる
- 市民社会と法運動



民法改正セミナー

鹿児島大学司法政策教育研究センターでは、4月25日(水)から6月8日(金)の間、采女博文特任教授による全5回にわたる「民法改正セミナー」を開催しました。弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、行政書士ほか、想定を超える120名もの参加申込がありました。講義内容は第1講「契約総則」第2講

● 早稲田大学法科大学院と連携協定を締結 ●

8月2日、鹿児島大学司法政策教育研究センターは早稲田大学大学院法務研究科(法科大学院)と、教育研究連携に関する協定を締結しました。

総合教育研究棟3階のセミナー室において執り行われた調印式では、高松英夫理事から、「鹿児島大学として、南九州から法曹になるという道を充実させるとともに、地域に理解のある法曹を一人でも多く生み出そうという取り組みを行っているところ、このたびの協定の締結に至ったことは極めて有意義です。」と挨拶がありました。

米田憲市センター長と甲斐克則研究科長による協定書への署名に続いて、甲斐研究科長から「早稲田大学法科大学院の取組の柱のひとつでもある、地域を支える法曹を生み出すことへの推進に協力関係ができることは、今後の司法制度を改善する上でも重要。腰を据えた継続的な取組としたい」と挨拶があり、続いて米田センター長から「南九州の法曹志願者への支援の充実に協力いただくことに加え、当センターで取り組んできた離島等司法過疎地における法律相談やICTを活用した取組を活用いただくことで、早稲田大学

法科大学院の取組や、地域の法律系士業のみならずにもこの恩恵を広げたい」との抱負が述べられました。取組の内容を定めた覚書では、鹿児島大学において、早稲田大学法科大学院の教員が法曹志願者を対象に法科大学院形式の模擬授業を2回実施するほか、司法政策教育研究センターが取り組む、離島等司法過疎地における法律相談事業に早稲田大学法科大学院の学生や出身法曹を受け入れることや、司法政策教育研究センターが有するICTのノウハウを駆使した取組を実施することとされています。



「債務不履行、売買」第3講「賃貸借、請負、保証契約など」第4講「詐害行為取消権、債権譲渡」第5講「法律行為(錯誤、代理)、消滅時効」となっており、細かくまとめられた資料と六法を手に

みなさま学修されていきました。講義後も熱心に質問する場面が見られるなど、盛況のセミナーとなりました。このセミナーでは、資料や学修方法の情報をネット経由で提供したり、復習が可能よう録画した動画をネットで配信するなど、センターとして新しい取組も実施しました。

臨床法学リカレント・セミナー 「法医学と法実務」

鹿児島大学司法政策教育研究センターでは、九州弁護士会連合会と主催し、鹿児島県弁護士会、鹿児島大学医歯学総合研究科法医学教室との共催で、法曹と裁判所、検察庁、法律事務職員を対象として、臨床法学セミナー



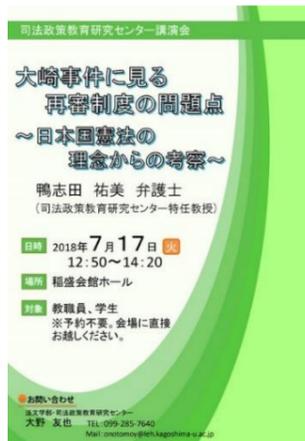
「法医学と法実務」を開催しました。平成28年の最初の開催以来、3回目となります。7月4日(水)には、小片守教授(鹿児島大学医学総合研究科法医学教室)が「児童・高齢者に対する虐待の診断 ～罪ある者が裁かれない。これ以上の不条理があるか～」を、7月11日(水)には、林敬人准教授(同)が「死後画像診断の有用性と限界 – 犯罪死の見逃し防止、裁判への応用の観点から」を主題として、法医学の基礎知識をもとに実例を踏まえながら、虐待の診断や最近の死後画像診断の活用について紹介されました。



このセミナーは、日本弁護士連合会がもつテレビ会議システムによって、鹿児島県弁護士会館の会議室を拠点として、福岡県弁護士会ほか、参加希望者のいる弁護士会やその支部を結んで、広く九州圏内の弁護士会宛てに配信されました。鹿児島会場では、第1講21人、第2講18人、福岡会場ほかでは、第1講54人、第2講では41人が参加し、延べ95人が参加する充実したセミナーとなりました。

「大崎事件に見る再審事件の問題ー日本国憲法の理念からの考察」講演会

鹿児島大学司法政策教育研究センターでは、7月17日(火)に、稲盛会館にて、特任教授である鴨志田祐美弁護士を講師として、講演会「大崎事件に見る再審事件の問題ー日本国憲法の理念からの考察」を開催しました。講演では、大崎事件の概要と日本国憲法の理念を踏まえて、現在の刑事手続がもつ問題点が指摘され、「憲法人権I」を履修する学生を始め120名ほどが参加しました。



臨床法学セミナー「ロイヤリング実践セミナー」

鹿児島大学司法政策教育研究センターでは、9月1日(土)から2日(日)を中心に、2007年より開催している恒例の「ロイヤリング実践セミナー」を、マルチメディア教室など当センターのICT機器の設置施設を主たる会場として開催しました。



このセミナーは、鹿児島県土地家屋調査士の協力の下に開催されており、今年は、司法修習生2名と土地家屋調査士8名を受講生に、樫田美雄神戸市看護大学准教授、北村隆憲東海大学教授、岡田光弘国際基督教大学研究員に、草鹿晋一京都産業大学教授を加えた研究者、正込健一郎弁護士が参加して、法律相談や調停事例についてのシミュレーションを録画し、即時分析ワークショップによる分析や検討を行いました。



九州弁護士会連合会「サマーセミナー」

9月15日(土)に鹿児島大学司法政策教育研究センターは、九州弁護士会連合会法科大学院の運営協力にかんする連絡協議会主催の

「サマーセミナー」を開催しました。このセミナーは、九州大学法科大学院、熊本大学法科大学院、琉球大学法科大学院をインターネット回線のテレビ会議システムで接続して開催されました。平成21年からの恒例の企画となっており、今年で10回目となります。

今年のテーマは、改正債権法について司法試験を手掛かりに検討するもので、日弁連債権法改正バックアップ委員間委員の齊藤芳郎弁護士(福岡県弁護士会)が「改正債権法講義～改正

によってここが変わった!～」という演題の下で、ロースクール生・修了生が知っておくべき債権法改正の重要ポイントが説明され、宮城哲弁護士(沖縄弁護士会・琉球大学法科大学院)が司法試験の過去問を、改正債権法に基づいて回答するとどうなるかを解説。九大会場では、資料が足りなくなるほど盛況で、鹿大では法科大学院進学希望の学部生や、鹿児島大学法文学部から他の法科大学院に進学し、司法試験合格を目指している卒業生が受講しました。

●「全国条例データベース powered by eLen」●

◆ 例規データを更新 ◆

鹿児島大学司法政策教育研究センターが運営する「全国条例データベース powered by eLen」について、6月25日(月)までに、内蔵する例規データを、6月1日(金)から15日(水)頃までに収集したデータに更新しました。「全国条例データベース powered by eLen」が内蔵する例規の更新は、年2回を想定しており、次回は12月に更新予定です。

<https://elen.ls.kagoshima-u.ac.jp/>



◆ 日経XTECHが「全国条例データベース powered by eLen」を紹介◆

日経BP社が運営する技術系デジタルメディア・サイトである日経XTECHは、6月26日版で、「ソフト開発に学べ、法令処理の自動化サービス続々」と言う記事の中で、当センターの角田篤泰特任教授(中央大学機構教授)のコメントとともに「全国条例データベース powered by eLen」を取り上げました。

近時のAIへの注目などを踏まえ、国の法令のXML書式であるe-LAWS規格との連携をはじめ、現行の立法の起案作業の支援システムの概要やその先の自動化を展望し、我が国の法律分野における先端システムのひとつとして紹介されています。

司法政策教育研究センターオリジナルさつつん誕生

鹿児島大学公式マスコットキャラクターの「さつつん」に司法政策教育研究センターオリジナルバージョンが誕生しました。普段は薩摩の偉人達を思わせるような紋付き袴を着ているさつつんですが、今度は法衣に着替えて法律を学ぶ皆様を応援致します。新しいさつつんとともに、司法政策教育研究センターも活動を行っていきます。今後ともどうぞよろしくお願致します。



HP紹介

鹿児島大学司法政策教育研究センターのホームページ・Facebookがあります。

過去の活動報告はもちろん、今後のイベントなど随時更新しておりますのでぜひご活用ください。



【ホームページ】

<http://lawcenter.ls.kagoshima-u.ac.jp/>

【Facebook】

<https://www.facebook.com/kulscenter/>